

製品名: BNIP-2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07617**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,ICC/IF,ELISA,FC |
| 反応性 | ヒト、ラット、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000,FC 1:200-1:400 |
| 分子量 | 36kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | BNIP2 |
| 別名 | BNIP2; NIP2; BCL2/adenovirus E1B 19 kDa protein-interacting protein 2 |
| 遺伝子 ID | 663.0 |
| SwissProt ID | Q12982 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト BNIP2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 265-314 |

背景

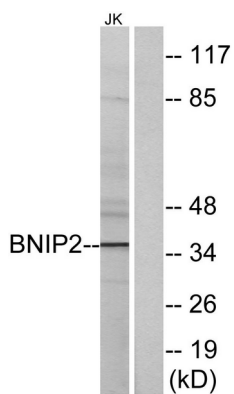
この遺伝子は、BCL2/アデノウイルス E1B 19 kD 相互作用タンパク質 (BNIP) ファミリーのメンバーです。ウイルス誘導性細胞死から細胞を保護する E1B 19 kDa タンパク質と相互作用します。コードされているタンパク質は、別のアポトーシス抑制因子である

BCL2 の E1B 19 kDa 類似配列とも相互作用します。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2016年3月]機能: 細胞死の抑制に関与する。BCL-2 およびアデノウイルス E1B 19 kDa タンパク質と相互作用する。類似性: 1 つの CRAL-TRIO ドメインを含む。細胞内局在: 核膜領域およびその他の細胞質構造に局在する。

研究分野

-

画像データ



BNIP2 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロックされている。